研究室ゼミ紹介

医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室

がんの発生・進展の分子基盤の解明、新しい診断・治療標的の同定などの研究とともに、病理医の育成を行っています。

総合科学研究科 吉田光演研究室

先生を囲む温かい雰囲気の中、ことばの意味や構造について日・中・独・英語を通して楽しく研究しています。

教育学部第五類教育学系コース

学年間の距離が近く、和やかな雰囲気の中で幅広く「教育」を学びながら、批判的思考力を身に付けています。

理学研究科 構造物理化学研究室

レーザー分光法を用いて、ホスト-ゲスト化合物の機能性の発現を調べています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C016467
VEGETABLE OIL INK

広島大学HP▶http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html

公式Twitter・Facebookも運用中!

Twitter @Hiroshima_Univ Facebook https://www.facebook.com/HiroshimaUniv

広大生のための広報誌

HU-style

Apr.2016
vol.45
Hiroshima University

広島大学

巻頭インタビュー

タレント / アンガールズ

田中卓志

特集

広大生の歩み

コツコツと積み上げてきた努力が、今の僕を支えています。

お笑いか？建築か？悩んだ末に、今しかできないお笑いを選択！

タレント
アンガールズ **田中卓志**（広島大学工学部卒業）

PROFILE

田中卓志

1976年2月8日生まれ。
広島県上下町（現府中市出身）。
広島大学工学部卒業。
2002年1月デビュー。

広島大学の卒業生で、テレビをはじめ各種メディアで活躍する、アンガールズの田中さんを取材。RCC中国放送で好評放映中のテレビ番組『元就。』の収録後に、お話を伺いしました。ちなみにご協力いただいた、『元就。』のプロデューサー中村知喜さん（テレビ局編成制作部部次長）も広島大学の卒業生です。

中村知喜さん
経済学部 平成8年卒

田中さんは広島大学工学部に入学後、主に何を学んでいたのですか？

工学部四類で、建築の構造を学んでいました。中学生の頃から建築を勉強したいと思っていたんです。初めは大工さんになりたいと思っていたのですが、それを親に言ったら、「建築や設計をやった方がもうかる」と言われ、建築について学ぼうと決めました。卒論では、「骨組み構造の新しい解析法」というテーマに取り組み、既存の解析法を違うルートで計算しても同じ結果になるということを研究しました。

お笑いの世界に入ったのはなぜですか？

僕もそうでしたが、大学生ってみんなお笑いが好きですよね。それに僕が大学生の頃は『ボキャブラ天国』というテレビ番組がちょうどはやっていて、それを見ているうちにお笑いを目指したくなったんです。勉強してきた建築と、大学に入ってからやりたくなったお笑いのどっちを取るか、4年生の1月まで本当に悩みました。大学院への進学も考え、試験には合格していましたよ。最終的には、「先に建築の世界に入ってしまえば、もう二度とお笑いを目指すことはできない」と考え、当時やりたい気持ちが強かったお笑いの道を選択しました。今は高学歴の芸人がたくさんいて、僕が若手の頃のように「大卒」だからといって、クイズ番組などの仕事をもらえることは少ないです。広大生の皆さんには、芸人になることをお勧めしません。楽な世界ではないですからね。

大学生活で印象に残っていることは何ですか？

やはり大学祭ですね。サークル仲間とおでんのお店を出しました。仲間の家で大根を煮てから、車で会場まで何往復も大根を運んでいたら、車内に匂いが染み付いてしまいました（笑）。いつまでたっても大根臭い車でしたね。当時の大学祭にはスポーツ選手がゲストとしてよく来ていて、バレーボールの大林素子さんとお話したことも印象に残っています。

キャンパス内でよく行った場所はありましたか？

工学部は男子が多いので、かわいい女子を見るために、よくスペイン広場や食堂へ行っていましたね。話し掛けることはしませんよ。シャイな性格だったので、ただ通り過ぎるだけです（笑）。当時は、マクドナルドも学内にあったので行きました。マックシェイクのお替わりを自由にできる広大限定キャンペーンもありましたよ。

卒業してから分かった広大の良さはありますか？

ざっくりとした表現ですが、“ザ・キャンパス”みたいなのが良いですね。東京だと、ビル一つがドーンと建っていて、それだけがキャンパスの大学もあります。少し寂しいと思いませんか。広大は敷地が広くて、並木道があって、のびのびと気持ちよく過ごせます。90年代にはやった青春ドラマ『あすなろ白書』で抱いた大学のイメージにピッタリでした。車を持っている人も多いので、行動範囲が広がるのも魅力ですね。あとは、総合大学なので、いろんな人がいるところですね。東広島キャンパスは都会じゃないから、刺激が少ないって言う人もいるかもしれませんが、自分で行動すれば、いくらでも刺激を取り入れられる場所だと思います。

サークルには入っていましたか？

旅行代理店のように、旅行を企画・提案する“ボルケーノ”というサークルに入っていました。メンバーは広大生だけでなく、他大学の人もいる合同サークルです。相方の山根ともこのサークルで出会いました。メンバーでお金を出し合い、広島市内にワンルームの事務所を借りて活用していました。スポンサーを探すために、企業に飛び込み営業をするなど、今考えるとかなりむちゃなことをしていましたね。度胸はかなり付いたけど（笑）。

大学生活で学んだことや経験で、芸能活動に生かされている部分はありますか？

今でも毎年、建築関係のイベントに審査員として呼ばれていますが、一番はとにかくコツコツやることですね。設計製図は毎日コツコツやらないと進まないんです。お笑いのネタは、売れるまでは毎月1本以上は書かないといけない。継続してコツコツ書くのは意外に大変だから、多くの若手芸人はすぐ遊んじゃうんですよ。でも僕は、大学を卒業してからで、ライバルよりも年齢が上だし、早く売れないといけないから、他の人が遊んでいても喫茶店でずっとネタを書いていました。周りの人は僕の姿勢に驚いていましたが、大学時代に培った“コツコツ毎日やる”という習慣が身に付いていたから、特に苦ではなかったです。

サークルを通しても大きく成長できたと思います。僕は本当に内気で人と接触するのが苦手な人間でしたが、いつの間にか「人前に立ちたい！」と思う人間になっていました。人間的に明らかな変化ですよね。何もお笑いだけに限った話ではなく、例えば、プレゼンテーションをする仕事に就いたら、人をバシッと説得しなきゃいけないわけだから、どんな人生を歩んだとしてもプラスになっていたと思います。

最後に、広大生へ「これは絶対やっておくべき！」ということを教えてください。

日々の出来事を何でもいいから日記にすることです。びっくりするぐらい自分の役に立ちます。僕は芸人になってから毎日日記を付けていますが、10年前に思っていたことを見返したら、すごく面白いし、今の自分のためになります。何を言ってウケたかなども書いているし、時には相方への不満なども書いています（笑）。日記は自分の成長を実感できる指針になります。広大生の皆さんも将来、過去の自分を振り返らなければならない時が来るはずです。例えば就職活動では、大学生活で何をやってきたか、日記を見返せば忘れてしまっていることを振り返り、自分の考え方の変化を見て取れます。これは学年・年齢関係なしに必ずプラスになります。

でも僕がこれだけ主張しても、大半の人は多分書かないと思います。だからこそやった方がいいです！他人がやらないから、やった方がいいんです。1日3行でも毎日継続して書くのは大変ですけどね。僕は、「5年日記帳」を愛用しています。1ページに5年分書き込めるので、例えば、3年前の今日何をしていたのかもすぐに分かります。入学してから卒業するまでの4年間、ぜひ続けてみてください。日記だけでなく、他の人がやらないようなことにも挑戦してください。そして、その挑戦も毎日コツコツと粘り強く、努力を積み重ねてほしいですね。

取材・記事／総合科学部4年　寺坂　絵里
取材／総合科学部卒業　藤本　迪子（取材時4年）、総合科学部4年　桜田　諄、
総合科学部3年　星野　楽

取材を終えて

私も今年に入ってちょうど日記を付け始めました。毎日短い時間でも、過去と今の自分と向き合う時間を作れたらとあらためて思いました。田中さんはテレビで見るとおり親しみやすい方でしたが、それに加え、とても真面目で努力家だと感じました。

取材者代表／総合科学部4年　寺坂　絵里

広大生の歩み

学部

CASE 藤本迪子さん　総合科学部（2012.4~2016.3在学）

入学前の目標　4年間で10カ国旅する！

化学、社会学、心理学など、さまざまな授業を受け、大学の講義内容の幅広さに驚く！

1年

前期：第二外国語の授業でフランス語にのめり込む！ダジャレ好きのサントニ先生とは、週1回先生の部屋でお茶をして、フランスの話をたくさんした。

学期末試験

HU-styleの活動に初参加！

夏季休業

START プログラムを利用して、インドネシアに約2週間留学。今でもインドネシアの友人とは仲良し。

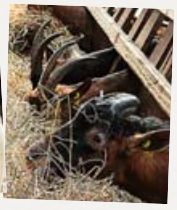
秋：飲食店でホールのバイトを始める。4年生の2月まで続けた。

冬季休業

春季休業

学期末試験

フランスの農家で1カ月ホームステイ。コミュニケーションが活発なマルシェ（市場）の光景に衝撃を受け、卒業論文のテーマにすることを決意！



2年

フランスに続きアメリカ・フロリダで約3週間農業体験。

学期末試験

夏季休業

HU-style36号でラバーガールさんの取材！

冬季休業

学期末試験

春季休業

台湾ショートビジット※に参加。主に人権問題を学び、台湾グルメも満喫！

※ショートビジット…日本学生支援機構の留学生交流支援制度

3年

専門科目が本格的にスタート。ヨーロッパ文化を中心に受ける。

機械に頼らず人の力でワイン造り！

学期末試験

ペラペラ

ペラペラ

CASE 笠井礼志さん　教育学部（2011.4~2016.3在学）

入学前の目標　いろいろな人との出会いに期待。将来は、小学校の先生になりたい！

1年

オリエンテーションキャンプで身近な友達との仲を深める！

学期末試験

夏季休業

母校の勉強合宿のチューターをした。これが人生初のアルバイト。

東北つながり隊でボランティアに参加

仮設住宅に住んでいる方と交流した。ボランティアは自己満足になってしまうのではと危惧していたが、被災者の方が素直につらかったことや楽しかったことなど、何でも話してくれ、意味のあることができていると感じた。

訪問先のおじいちゃんと。ランカセの設定をお手伝い。

冬季休業

春季休業

学期末試験

初めての海外は、JICA（独立行政法人国際協力機構）が主催するカンボジアスタディーツアー。現地の人が持つ熱気は、日本とは違い興味深かった。ただ、バスの上から貧しい人たちの現状を見ることに違和感を覚え、現地の人と同じ目線で物を見たいと思うようになった。

青年海外協力隊員の方と一緒にパチリ！

2年

福島×広島サマーステイ

放射線の影響により屋外で遊ぶことに気を遣う福島の子どもたちを東広島市志和に招き、存分に遊んで心身のストレスを発散してもらうイベントを開催！不安もあったが、子どもたちの笑顔を見て、今後も福島の子どもや志和の人と交流を続けたいという気持ちが強くなった。

学期末試験

夏季休業

人生を変えたイベント。学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」が主催するイベントで、初めてリーダーに立候補。

3年

インドへ行き、子どもたちの教育支援を行うボランティアに参加した。

「初等社会科教育法」「初等教育カリキュラム開発論」などの授業を受け、授業分析や教材研究に関する知識を身に付けた。
専門科目以外にも、教養科目「国際協力を考える」や特定プログラム「平和協力論」を受講し、国際協力の特徴や課題について理解を深めた。

学期末試験

広大生はどんな大学生活を過ごし、どんな将来を歩むのか!?
大学生活はみんなそれぞれだけど、今回は卒業・修了を迎えた４人の先輩の歩みを大公開!
広大生の出会い、成長の実体験をぜひ参考にしてくださいね。

ガウディ建築の一つ、カサ・バトリョ

2度目のフランス。3週間ワイン造りを手伝い、前回訪れたホストファミリーとも再会。フランスの隣スペインにも行き、アントニ・ガウディの建築物を観光。

「死ぬまでに一度は見たい!」と思っていたオーロラを見にカナダのイエローナイフへ。極寒の中見えたオーロラは一生忘れられない景色!

卒業論文を本格的に書き始める。タイトルは「フランスのマルシェにおけるコミュニケーションの親密性について」。

地元広島のテレビ局に就職。

後輩へ贈る言葉

寄り道が人生を変える

私の4年間は今まで興味のなかったものにどれだけチャレンジできるかをテーマにしました。「未知な道」もどんどん歩いてみると、大学生活が変わるかもしれませんよ!

夏季休業 — 後期で卒業論文以外の必修単位は全て取得! — 冬季休業 — 学期末試験 — 春季休業 — **4年** — 学期末試験 — 夏季休業 — 冬季休業 — 学期末試験 — 春季休業 — 卒業 — **社会人へ**

フランスが大好きになったことをきっかけに、フランス語弁論大会に出場し、「大会実行委員会賞」を受賞!

HU-styleの活動を通して学んだこと

誌面の企画から取材、原稿執筆までを経験。前田智徳（元広島東洋カープ）さんをはじめ、たくさんのOB・OG、先生、広大生へ取材した。特に印象的だったのは、ラバーガールさんの取材。大のお笑い好きで、購読していたお笑い雑誌を取材に持参したところ、良い雰囲気づくりができた。普段知り合えないようなさまざまな年代・業界の方を取材し、話を聞くことの難しさと面白さを学べた。特集の企画では、粘り強くたくさんの企画を提案できるようになって、考え方の幅が広がった。

HU-style41号 越智学長取材中の様子

4年間を振り返って

10カ国は行けなかったけど……

自分が卒業論文のテーマにするほどフランスが大好きになるとは、入学前に思ってもいませんでした。フランス以外のどの国にも忘れられない温かい出会いや思い出・学びがたくさん! 充実した大学生活でした。

5週間、教育実習へ。

実習を通して、授業作りに対する心構え、授業や学級経営に対する視点を持つことができた。先生方が、ほんのわずかな子どもたちの変化を感じ取り、授業や学級経営にフィードバックしている姿を見て感動した。実習に行った仲間と協力して授業作りをし、悩んでいる時期も乗り越えることができた。

地震と台風で被災したフィリピンの学校を訪問。

初期社会科の研究と社会科指導の専門家である木村博一先生のゼミへ。

「寺子屋こんこんプロジェクト」を立ち上げ、志和の子どもを対象に自習室の提供と特別授業を開催。勉強することの先に、どんな仕事があるのかを伝え、「より広い学びの世界」を知ってもらいたいと考えている。

将来は、教員もしくは教育関係の仕事に就いて、子どもの可能性を広げられる場を作りたい!

夏季休業 — 冬季休業 — 学期末試験 — 春季休業 — **4年** — 学期末試験 — 夏季休業 — 冬季休業 — 学期末試験 — 春季休業 — 卒業 — **大学院へ**

大学院 教育学研究科 学習開発学専攻へ進学。

4〜11月休学

福島県会津地方へ!

NPO法人まちづくり喜多方でインターンシップ。教育やアートプロジェクト、空き家問題について関わる。責任ある仕事を任せてもらい、「働くこと」の難しさと楽しさを学びながら、充実した日々を過ごした。

wow!

喜多方市へ行った時に、人口が6人の集落を訪れる。にぎわいとは程遠いと想像していたが、実際に行って見ると、集落でジャズコンサートが開催されるなど、皆が生き生きと暮らしていた。ここで学んだ事を題材に授業がしたいと考え、卒業論文のテーマに。卒業論文「社会科授業構成のための教材研究ー単元『人口減少社会を考える』ー」。

後輩へ贈る言葉

もし「やってみたい!けど……」と迷うことがあれば、ぜひ挑戦してみてください。同じ志を持った仲間と出会えると思います。大学生活で出会えた仲間は私にとって一生の財産です。やりたいことに挑戦し、人と出会うことで、かけがえのない時間を過ごしてください。

大学院 博士課程前期（マスター）

CASE 1 一木 星さん 国際協力研究科 開発科学専攻（経済学部2010.4〜2014.3、国際協力研

入学前の目標 立派な社会人になるために、さまざまな人と出会い、経験を積み重ねたい！

この講義を担当した安武公一先生のゼミに入ることに。

国内旅行をするためにアルバイトに熱中！アルバイトは、塾講師やカメラの販売員を経験。福岡や東京へ一人旅を敢行。

前期：「国際経済学」の授業で、講義のスタイルの斬新さや内容に強く引かれる。

学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」の立ち上げ。主に、仮設住宅の方の心のケアと何が必要なのかを調べるニーズ調査を行った。この経験から、人とのつながりの重要性と仲間と一つのことを達成する難しさを学んだ。

2年生の春休みまで東北での活動を継続！

夏休みと春休みにインドでの活動を継続。卒業論文のテーマは、「インドのストリートチルドレンに対する政策について」。インドでの活動が執筆の大きな手助けに！ 就活をして、商社などの説明会に参加したが、「国際協力について学べるチャンスは今しかない」と思い、国際協力研究科への進学を決意！

1年 学期末試験 夏季休業 冬季休業 学期末試験 春季休業 2年 学期末試験 夏季休業 冬季休業 学期末試験 春季休業 3年 学期末試験 夏季休業 冬季休業 学期末試験 春季休業 4年 学期末試験 夏季休業

福島発の復興支援のイベント▼

◀宮城県でがれき撤去のボランティアをした場所

先輩に誘われ、東北での震災ボランティア活動に参加。その後、学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」の立ち上げに携わる。

自分の限界を知るために、インドに4カ月滞在することを決意。最初の1カ月は、インドを1人で1周。2カ月目は、現地のNGOを転々とし、会計作業や放課後教室のアシスタントを行った。残りの1カ月半は、現地NGOの運営を支援。経営方針やスタッフのモチベーションをどう確立させていくかが課題に。

インド・バンガロールで1週間ボランティアをしたNGO

インドで初めて手でごはんを食べた時

インドカンニャクマリ（最南端）の日の入り

モグモグ

インドでの経験が、大学院に入るきっかけとなった。

大学院 博士課程後期（ドクター）

CASE 2 宮崎 康典さん 理学研究科 化学専攻（博士課程前期2012.4〜2014.3、博士課程後期20

入学前の目標 将来研究者になるために、大学院で多くのことを学びたい

高校2年生からカナダへ留学。

高校2年生（カナダ）

高校から大学2年まで、ホストファミリーにお世話になった。おすしを作るなど日本文化を紹介しながら交流を楽しんだ。たくさんの

帰国することなく、カナダのサスカチュワン大学へ進学。

大学（カナダ）

日本の大学院へ進学するために、複数の大学を調査・見学！

DNAや遺伝などの生態系から、分子、化学、物理と幅広い分野を学ぶ。特に、レーザーを使った「分子分光学」の面白さにはまり、現在の研究テーマとなった。

大学院M1（マスター）

研究生活が始まる

「分子集合体や機能性分子のレーザー分光研究」を主に研究している江幡孝之教授の魅力に引かれ、広島大学への進学を決意。

最初の半年は、研究目的を見つけたり、先行研究を調べたりする時間に費やす。

大学院M2（マスター）

個人の実験をスタート。

初めは日本語の科学用語が分からないことに一苦労。

ムムム……

D1年目は実験をやってもなかなか結果が出ず、孤独との戦いだった。
論文タイトル：「けい皮酸誘導体の光化学に関する実験的及び理論的研究」

大学院D1（ドクター）

修士論文提出。博士課程後期へ進むには、選抜試験がある。

学会 マスター時代から毎年2〜3回、学会に参加。アメリカやフランスでの国際学会に参加したことも。学会では、研究成果のプレゼンテーションを英語で30分程度行う。

就活 M1の頃から企業研究を開始。論文と違い、履歴書の書き方が分からなかったが、グローバルキャリアデザインセンターでアドバイスをもらい、面接も練習してもらった。

授業 専門以外にも、グローバルキャリアデザインセンターが開講している大学院共通科目の「リーダーシップ論」「ストレスマネジメント」の授業がためになった。

究科 博士課程前期2014.4~2016.3在学)

教育事業を共に行う
現地NGOの職員と

JICA(独立行政法人国際協力機構)のインターンシップに参加。実際の会議に参加したり、ウェブサイトのデザインの改善案を出したりして、積極的に活動できた。

後期は就活に専念!

企業の選考基準が分からず、準備の大変さに苦しむ。いざ、始まってみれば結果が出てくるので、迷いがなくなった。

修士論文の執筆に本腰を入れる。テーマは、「西アフリカのブルキナファソでの教育支援」。現地での聞き取り調査も交え、集大成となる論文を完成させる。

大学院M1(マスター)

大学院M2(マスター)

社会人へ 修了

冬季休業

春季休業 学期末試験

深夜まで研究室にこもり、研究に打ち込む。大学院は学部時代と違い、とにかく勉強量が多い! 留学生とディスカッションする機会も多く、彼らから大きな刺激を受けた。

研究室の仲間と

にこにこ

IDEC OPEN DAY(大学祭)でのステージ

就職先は、インターンへ行った、JICAに決定!

後輩へ贈る言葉

「人の期待をどう超えるか」を考えて大学生活を送ってください。誰かが自分にチャンスを与えてくれたら、それはあなたが人から期待されている証拠です。人の期待を超えることで、思ってもみない大きなチャンスをつかむかもしれませんよ!

印象に残っている言葉

「自分の中で優先順位を付けなさい」

アルバイト先の塾長から言われた言葉。この言葉をきっかけにして、自分のやりたいことに集中できるようになった。そのおかげもあってか、大学生活でやり残したことはありません!

14.4~2016.3在学)

実験の日

一日のスケジュール

10時~ 大学に来て実験準備。
13時~ 実験開始。
夜までデータ収集。

実験がない日

一日のスケジュール

午前~ BBCニュースを見るなど、英語の勉強に励む。
午後~ 実験結果の考察や、レポートに取り組む。

後輩に指導するのも先輩の大事な役目です。

がんばるぞ~

将来はプロジェクトマネジメントをする部署に行き、他の誰かの研究支援をしたい。

博士論文提出

大学院D2(ドクター)

大学院D3(ドクター)

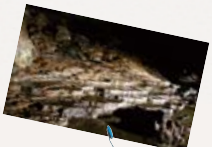
社会人へ 修了

国立研究開発法人に就職。

インターンシップ

D2の5月~7月に、製造業の企業のインターンシップに参加。研究員の一員として、実験を繰り返した。学生生活が長かったので、社会人になることへの不安もあるが、インターンシップを経験できたことは大きい。

アルバイト 生活費を稼ぐために、運送業務や塾講師などをした。



研究が落ち着くと、愛車に乗って日本全国へ。旅行は貴重な気分転換です!

後輩へ贈る言葉

研究は基礎が命!
研究計画は逆算して立てるべし

研究の世界は、経験が物を言います。新参者がすぐに何かを成し遂げるのは、極めて難しいことです。だからこそ、学部やマスターの時に学ぶ基礎がとても大事です。私自身、もう少し基礎をしっかり勉強しておけば……という後悔があります。1年間の研究計画をしっかり立てて、毎月、一日に「何を、どれだけすればよいのか」を逆算して決めると、考えがブレません。当然、想定外のことも起きますが、想定外のこともフォローできるような計画を立てると良いと思います。

取材・記事/総合科学部卒業 藤本 迪子(取材時4年)、経済学部4年 千原 佑太

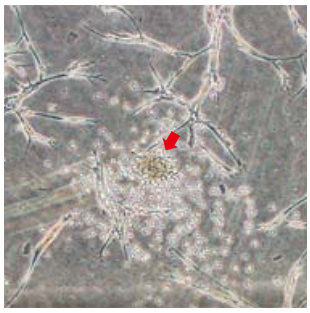
研究室訪問

広島大学には、広〜いジャンルにいろんな先生がいて、深〜い研究を行っています。
研究室におじゃまして、その世界をのぞいてみましょう。

1本の論文で1,000人の患者を救いたい

原爆放射線医科学研究所
仲 一仁 准教授
Kazuhito Naka

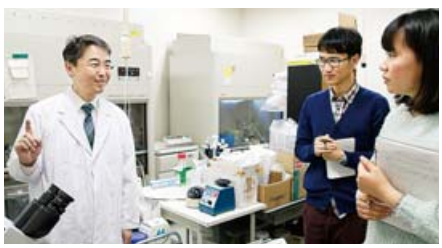
広島大学大学院医学系研究科修了。1993年に研究者として民間企業へ入社。その後、岡山大学、金沢大学などでがんに関する研究を行い、2015年より現職。現在は白血病の再発の原因となる幹細胞の研究に情熱を注いでいる。博士（医学）。



CML幹細胞のコロニー（矢印）。わずかでも残ると再発の原因になるCML幹細胞の治療法を研究。

どのようなことを研究していますか？

がんの中でも、慢性骨髄性白血病（CML）という病気が研究対象です。医学の進歩により、現在はCMLを発症しても飲み薬によって治療できるようになりました。しかし、この薬では病気の根本的な原因となるCML幹細胞を取り除くことができません。患者さんが薬の摂取をやめると、幹細胞が種となって6割ほどの人は病気が再発するのです。私の最終目標は、幹細胞自体を取り除いて、病気を根治できる治療法を確立すること。目標を達成して少しでも患者さんの負担を減らせるように、関連する研究を日々積み重ねています。



研究に懸ける思いを教えてください。

医師ではないので、直接患者さんと接することはありませんが、自分の人生を懸けても、少しでも多くの人の命を救うことに貢献したいのです。まだ駆け出しの研究者だった頃、たくさんのがん患者さんが亡くなるのを目の当たりにし「何とかして救いたい」という思いが湧きました。今でも常にこの原点を思い出すようにしています。研究を続けていると、毎日がうまくいかないことの連続ですが、思いもよらない形で結果が出る時があります。その瞬間は、神様が助けてくれたのかなと思いますね。その成果でいつか患者さんを救えることを強く願っています。

広大生へのメッセージをお願いします。

まずは、皆さんがどのような道に進むにしても、本当に戦わなければならないのは自分自身だということです。「これで本当に良いのか？」「これで自分は満足か？」と、常に自分と向き合って問い掛けることが重要です。

そして今、社会は若い人の力を必要としています。若い時に考えたことは、その後に重要な意味を持ってきます。だからこそ、それぞれ歩んでいく道は違っても、大人と若い人が力を合わせて前に進んでいくことが大切だと思います。自分の専門分野にとらわれるのではなく、攻めの姿勢で新しい地平を切り開き、自由に羽ばたいてください。

とても物腰が柔らかで優しい仲先生。その一方、一人でも多くのがん患者を救えるように研究を続けたいという強い思いが伝わってきました。

取材・記事／総合科学部4年　桜田　諄

お仕事拝見！ OB&OG紹介

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきこと、はたまたプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

何かに100%の力を！

小宮山 裕介 Yusuke Komiyama
マツダ株式会社 広報本部 グローバル広報企画部
（2010年3月 文学部卒）

どんなお仕事をしていますか？

現在は、広報担当として報道機関向けのニュースリリースや社内向けの広報誌を作成しています。ニュースリリースとは、自社の製品や会社の経営に関わる情報などをニュースとしてメディアに伝えることです。テレビや新聞などで報道してもらえるように、正しく分かりやすい文章を作成する力、問い合わせに的確に対応する力が求められます。

就活の時から今の会社や部署を志望していたのですか？

もともと自動車業界に絞って就活していたわけではありません。会社を探す際は、業種や職種よりも、その会社のビジョンや大切にしていることなどに、自分が共感できるかどうかという点を重視していました。マツダは一貫して「走る歓び」を追求し、「もっと運転したい！」「運転が楽しい！」と思える製品を開発していて、そのこだわりに強く共感しました。そして、そのこだわりや、その背景にあるマツダの哲学や社員の思いなどを、より多くの人に伝えたいとの思いから、今の部署を志望しました。

学生時代の経験で役立ったことはありますか？

アルバイトですね。時給が高いという理由で、ガソリンスタンドで働き始めたのですが、そこでの経験があったからこそ、うまく社会人のスタートを切ることができたと思います。東広島キャンパスがある西条は学生中心の街なので、どこに行っても学生との関わりになってしまいがちです。アルバイトは社会人としての厳しさや責任の大きさに触れる良い機会でした。

全ての仕事には責任が問われます。仕事と真摯に向き合い、100%の力で取り組んでいなければ、自分の仕事に責任は持てません。大学生活ではどうしても妥協したり、自分に甘くなったりしがちで、なかなか自分の力を100%出し切って取り組む機会はありません。もちろん全てのことに100%の力で取り組む必要はありませんが、70%の力で達成できることばかりを繰り返すと、自分の成長もなく、可能性も広がりません。勉強でもサークルでもアルバイトでも、大学生の今しかできないことに何か一つでいいので、全力で取り組んでみてください。きっとそれが社会人に向けた準備につながると思います。

残り1年間の学生生活で、何に100%の本気を注ごうかと考えた取材でした。研究？サークル？いや、全てに全力投球ですね！（笑）。
取材・記事／野田　順平（教育学研究科M2）

取材を終えて

同僚とのつながりも大切なことだと教えていただきました。信頼できる仲間づくりは、学生生活のみならず仕事でも心掛けたいと思いました。　取材・記事／総合科学部卒業　藤本 迪子（取材時4年）

疑問を持ち、考える習慣を身に付けよう

小林 紀子 Noriko Kobayashi
株式会社NTTファシリティーズ 総務人事部法務室
（2012年3月 経済学部卒業）

お仕事の内容を教えてください。

契約書の作成など、法律面からビジネスをサポートする法務の仕事をしています。現在は、主に太陽光などエネルギー事業のプロジェクトに携わっており、ビジネスを円滑に進める上で契約に問題がないかをチェックし、いかにリスクを減らせるか、お客さまと良好な関係を築きつつプロジェクトを進めていくために何が必要かなどを提案しています。太陽光発電施設・パネルは、設置してそれで終わりではありません。納品後のメンテナンスなど、20年以上も続くビジネスです。期間が長く専門技術の知識も要するため、お客さまだけでなく社内の営業担当者や技術者との意識合わせが不可欠です。多くの方と関わる以上、相手の立場になって考える力を今後も磨き続け、“本当のニーズ”に応えられるようにしたいです。

学生時代の経験で仕事に生きていることはありますか。

ファイナンスゼミの課題では、新聞記事を読み、半年後、1年後の経済がどうなるかを議論しました。そのおかげで「なぜそうなるのか」を突き詰める習慣が身に付きました。ビジネスは絶えず変動するので、考えながら動くということが求められます。就職活動においても、「なぜこの業界なのか」「なぜこの企業で働きたいか」をしっかり考えることは重要です。物事を当たり前だと思わず、「なぜ」を繰り返してじっくり考える機会をつくってみてください。

広大生にメッセージをお願いします。

一緒に働く人の中には父親ぐらい年の離れた方もいます。大学生のうちにさまざまな人と関わってみてはいかがでしょうか。自分の居場所をいろいろな所につくれるのも大学生ならではです。「やりたい！」と思うことは大抵挑戦できると思うので、自分の視野を狭めず、可能性をどんどん広げてくださいね。

体感地球

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生＆“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。
「外国人から見た日本は？」「日本人が見た外国とは？」。留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをリポートします。

日本で見つけた「自分らしさ」

ギュルヴァン マヤール＝デュラモランデ
Gurvan Maillard de La Morandais
総合科学研究科D3（フランス出身）

高校生の時に合気道と出会い日本に関心を持つ。トゥールーズジャン・ジョレース大学で日本語学科日本研究学士（LLCE）を取得。2010年に短期留学プログラムで広島大学を訪れる。フランスで研究博士を取得後、2014年に大学院生として再び広島大学へ。現在は中山間地域における市民団体の地域づくり活動をテーマに博士論文をまとめている。

「共につくる」精神に引かれて

初めて日本に興味を持ったのは、私が高校生の時です。フランスは武道が盛んな国で、学校教育にも取り入れられており、その中で私は合気道を選択しました。単純に「かっこいいな」という男心から始めたのですが、鍛錬を積むうちに見えてきたのは「共につくる」精神です。相手の表現を尊重しつつ、それを利用して自らの技を完成させるかたちに引かれ、私の日本への関心は膨らんでいきました。

大学祭で書道体験

私の武器はなんだろう

完成した
アースバックハウス

現在、土でできた家“アースバックハウス”を地域の人たちや学生、留学生と一緒につくるプロジェクトを進めています。地元の土を使って、地元の人と「共につくる」ことこそが、地域を活気付けるのではないかと思っています。この活動をしていると、「なんだあの変わったフランス人」という目で見られることがあり、最初はその視線を気にしていました。しかし、この珍しさこそが私の武器だと気付き、今ではそれを存分に利用して活動を広めています。私が日本語で話し掛けると、地域の人は喜んで心を開いてくれるので、すぐに仲良くなれますね。

建設中の様子

今後の予定

今の活動を職業にできたらいいですね。どうすれば住民が生き生きと暮らす地域をつくれるのか、市役所の方とも一緒に考えて実践していきたいです。ちなみに日本で困っていることは、書類の名前欄が小さすぎて自分の名前が入りきらないことですね（笑）。

日本の抱える地域の問題を留学生という視点から捉え、実際に活動するヴァンさんのお話は説得力がありました。シンプルでもおしゃれな服装もかっこよかったです。　取材・記事／総合科学部3年　星野　楽

ファッションショーを通して社会問題に挑む

伊達文香 Fumika Date
教育学研究科M2

「官民協働海外留学支援制度〜トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム〜」の第2期生として、2015年7月〜12月にインドへ留学。臨床心理学を研究する傍ら、ファッションを通して女性の自立をサポートする団体「Mode for Smiles」の代表を務める。

「自分で考える」留学

「トビタテ！留学JAPAN」は、文部科学省や民間企業などが協働して生まれた新たな海外留学支援制度です。決められたプログラムは存在せず、「行きたい国」「やりたいこと」などを応募の際に各自が自由に計画します。全国の学生が応募する本プログラムですが、私は「新興国コース」枠で選考に通り、インドへ留学することが決定しました。

女性のためのファッションショーを計画

現地NGOでの活動風景

インドへの留学の目的は、女性のためのファッションショーを開催することでした。インドでは、虐待や人身売買などの危険から保護された女性がたくさんいます。そのような女性に衣食住を支援するNGOは数多くありますが、彼女たちの精神面を支えたり社会復帰を促したりする団体は少ないのです。そこで私は、自分が好きな「服作り」を通して彼女たちを支援したいと考え、NGOや現地のコーディネーターと協力してファッションショーの準備を進めました。当日は、地元警察により人身売買に対する啓発が行われ、地元メディアにも取り上げられたおかげで、多くの人に問題意識を持っていただけました。

服選びワークショップ

ショー後の集合写真

将来の展望が見えてきた

今回の留学を通して、インドの社会問題の大きさを認識するとともに、問題への具体的な取り組み方が分かってきました。今後も継続的にこのような活動を行いたいのですが、経済的・時間的な制約があります。そこで、自らのファッションブランドitobanashiを立ち上げ、学生チームとも協働しながら継続的に現地女性に雇用と収入を生み出せる服作りのプラットフォームを創り、真の自立サポートをしたいと考えています。

インドに行ったのは8回になったとのこと。何回行ってもどれだけ滞在しても、毎日面白い発見があると教えてくれました。インドがどんな街なのか、ますます気になりました。　取材・記事／理学部4年　小野　太一郎

そこが知りたい！

学生取材班が行く番外編

**４年もあると思っていると、４年しかない卒業までの時間。
その歩みは人それぞれですが、勇気を出して踏み出せば、
すてきな出会いや出来事が待っています。
いろんな広大生の歩みをたくさんの写真でご紹介します。**

広大生の歩み

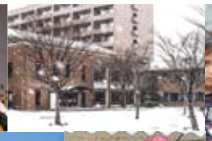
大学は高校と違ってクラスがない。
毎日顔を合わせる担任の先生もいない。
自分で行動を起こさなければ、
ただただ時間が過ぎていくことに戸惑う。
一人暮らし、アルバイト、成人式、就職活動……
大人への階段を上っていることに不安も感じる。
でも、大学で手にするたくさんの自由は、
大きな可能性を秘めている。

自由はすごい。

夢中になって学問に没頭したり、
一人で世界にはばたいたり、
誰かと新しいイベントを企画したり。
ちょっと勇気を出すと何だってできる。

歩みは十人十色。

あなたの広大生活は何色?



記事／総合科学部卒業　藤本　迪子（執筆時４年）
写真提供／広島大学写真部

ガンバル広大生のPRページ

発見！元気人

広島大学体育会バレーボール部 ～一瞬の駆け引きを楽しんでみませんか？～

バレーボール部は、東広島キャンパスの北体育館にて、男子12人（マネージャー 3人）、女子14人の計29人で切磋琢磨し合いながら、日々練習に取り組んでいます。部員の中には、高校時代に全国大会で優勝し、日本一を経験した人もいれば、全く経験のない人もいます。男女共に仲が良く、本当に個性豊かなメンバーがそろっています。また、バレーボールの技術の向上のみならず、一人一人の人間性を育てる「よき集団」を目指しています。

バレーボールで求められる力の一つが「瞬時の判断力」です。ラリー中はボールを手で持つことはできないため、相手の動きをじっくり見ながら攻撃をすることはできません。「難しそうだなぁ」と思う人もいるかもしれませんが、一瞬の駆け引きにこそバレーボール本来の楽しさや魅力が詰まっています。

私たちは先生や保護者をはじめ、たくさんの方々に支えてもらっているということを忘れず、これからも応援される、愛されるチームを目指して、がんばります。バレー経験者も、初心者も、どんな方でも大歓迎！ぜひ一度、体育館に足を運び、バレーボールの世界に触れてみてください！

レシーブ練習の様子

試合で行うルーティーン

男女共に仲良く活動しています！

記事／広島大学体育会バレーボール部・教育学部4年　近藤　美咲
連絡先▶b131855@hiroshima-u.ac.jp

広島大学写真部 ～「写真はスマホで十分♪」そう言う人こそ読んでみて！～

スマホのカメラってすごいですよね。簡単にきれいに撮れるし、編集アプリ・設定も充実してますよね。「えっ、写真部の人ってスマホで撮ってるの!?」と突っ込まれそうな書きぶりですが、もちろん一眼レフを使って撮影しています！良さげな被写体があって、ササっとTwitterに上げる場合は機動性が良いスマホを使うこともありますが、やっぱり一眼レフの撮影はワクワクします。何と言っても、一眼レフは設定の幅が広いですね。絞り、シャッタースピード、感度、色温度、さらにはそれらを駆使した長時間露光……。深入りしすぎると眠くなってしまうのでこれくらいに（笑）。要するに、写真を撮る世界が格段に広がるんです！四季折々が彩る世界をファインダー越しに撮ってみると、かつて見たことのない世界が広がっていることでしょう。写真は人それぞれ個性があり、決して難しいことではありません。誰もが手軽に始められることです。これを機会に始めてみませんか？

紹介が遅れましたが、写真部は現在15人程度でのんびり気ままに活動しています。初心者から経験者まで幅広く募集中です。部員の中にはスゴ腕の人もいますよ！また、一眼レフの貸し出しも受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

しまなみ海道を背景に

作品

記事／広島大学写真部・工学部3年　冨田　大智
連絡先▶b146274@hiroshima-u.ac.jp
HP▶https://sites.google.com/site/hiroshimadaigakushashinbu/

Jack-o'-Lantern（ジャックオーランタン） ～ようこそマジックの世界へ！見るも良し、やってみるも良し～

私たちは、マジック・ジャグリングを中心としたパフォーマンスを行っています。現在のメンバーは30人程度。ゆかたまつりや大学祭で、路上パフォーマンスやステージショーをしているので、私たちをご覧になった方もいるかと思います。その他、子供会や敬老会、地域のお祭りなどのイベントにも出演しています。

普段はイベントに向けて練習を重ねます。練習を通して個人の技を磨くのも楽しさの一つですが、一番のやりがいは、私たちのショーを見たお客さんに喜んでもらえることです。人前に立つのはいまだに緊張しますが、お客さんが声を上げて驚いたり、笑顔で楽しんだりしている様子を見ると、緊張を忘れて楽しく演技ができます。

私たちのショーでは、さまざまな演者が順番に登場します。パフォーマンスそのものは個人で行うものが多いのですが、「次の番を待つ演者に良い雰囲気でつなげよう！」という気持ちを持って一人一人ががんばります。仲間と協力して一つのショーを作り上げていく楽しさや達成感が存分に味わえます。

「大学生活で何かやってみたい」「新しいことに打ち込みたい」という方はぜひ一度見学に来てください。出演依頼も承っています。詳しくはHPをご覧ください。

ジャグリング

四つ玉（大学祭ステージ）

リング

トランプ

記事／Jack-o'-Lantern・理学部4年　小野　太一郎
連絡先▶HPのお問い合わせフォームから送信してください。
HP▶http://hiroshimagic.jimdo.com/

広大生必読

News & Event

学内の重要なお知らせから、
耳寄りなニュースまで。
広大生必読のインフォメーションです。

ノーベル賞受賞の山中、ガードン両博士が本学で講演

2012年ノーベル生理学・医学賞を共同受賞されたケンブリッジ大学ウエルカムトラスト英国癌研究基金ガードン研究所のジョン・ガードン博士と、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥博士をお招きして3月7日(月)、講演会「広島大学から世界へ～世界のトップ研究者に聞く～」を開催しました。

講演で山中博士は、今の医療で治せない病気を将来治せるようにしたいという思いが原点だったと述べました。「何のために研究するのかというビジョンを持つことが、ハードワークと並んで大事」とユーモアたっぷりに語り掛けました。一方、ガードン博士はアフリカツメガエルを使った核移植の研究を振り返り、「細胞置換療法には倫理的・法的な壁があるが、どんな治療を受けるかは患者自身が選択するべきだ」と衰えぬ研究への意欲をのぞかせました。

この後、越智光夫学長が両博士に広島大学特別栄誉教授の称号を授与し、お二人の功績をたたえました。

ジョン・ガードン博士

山中伸弥博士

就職関連のイベント情報

グローバルキャリアデザインセンターでは、就職に関するイベントの他、個別相談なども行っていますので、積極的に活用してください。詳細はMyもみじ掲示板またはホームページでご確認ください。

●各学部でのインターンシップ説明会

各学部で、グローバルキャリアデザインセンター職員によるインターンシップ説明会を4月から5月にかけて実施予定です。

●就活実践ノートを配布

学部3年生および大学院1年生の方を対象に、就職活動のノウハウ満載のスケジュール帳「就活実践ノート」を、5月頃から配布予定です。

問い合わせ先:グローバルキャリアデザインセンター
TEL:082-424-6165
E-mail:career-group@office.hiroshima-u.ac.jp
HP:http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/

文章作成に困ったらライティングセンターへ

ライティングセンターでは、レポートや授業課題などの学術的な文章(日本語・英語)の作成をサポートします。レポートをどのように書いたらいいか分からない、自分の書いたレポートに自信がないという方、ぜひライティングセンターへお越しください。大学院生のチューターが、個別に皆さんの文章作成の相談に応じます。より分かりやすい文章をチューターと一緒に作っていきましょう。

●時間:授業期の平日10:30～17:45
●場所:中央図書館1階
●予約:ライティングセンターのホームページから(現地での予約も可)
HP:http://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/
問い合わせ先:図書館 図書学術情報普及グループ
TEL:082-424-5631
E-mail:tosho-fukyu-wrc@office.hiroshima-u.ac.jp

PRコーナー

平成28年度広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修2年生/教育学部造形芸術系コース4年生 制作展

入場無料

学内展
会期:平成28年6月27日(月)～7月1日(金)
10時～19時(入場は閉場時間の30分前まで)
場所:広島大学東広島キャンパス大学会館1F 大集会室

学外展
会期:平成28年7月6日(水)～7月11日(月)
10時～17時(入場は閉場時間の30分前まで)
場所:東広島芸術文化ホールくらら 市民ギャラリー

平成27年度学生表彰

広島大学は、学術研究活動、課外活動、社会活動等において特に顕著な成績・功績を挙げた学生を表彰しています。

学生表彰

●学術研究活動(学部生)
学部ごとに、卒業する学生の中から原則1人の「成績優秀者」を選定

総合科学部/奥村　芽衣
文学部/安部麻奈美
教育学部/浦田　拓弥
法学部/馬場　智大
経済学部/松田　実優
理学部/和田佳奈子
医学部/西永由里子
歯学部/岡﨑　葉菜
薬学部/佐々木彩乃
工学部/今田　智裕
生物生産学部/中村美奈子

●学術研究活動(大学院生)
研究論文、研究業績等が国内外の学界において特に高い評価を受けた者

◎大学院総合科学研究科博士課程後期/栗林龍馬(未来博士3分間コンペティション2015において、JSW日本製鋼所賞を受賞した)

◎大学院理学研究科博士課程後期/金子政志(Mediterranean Conference on the Application of the Mössbauer Effect 2015において、YOUNG SCIENTIST BEST PAPER AWARDを受賞した)

◎大学院先端物質科学研究科博士課程前期/中司圭亮(研究論文を国際学術誌に2報発表した)

◎大学院医歯薬学総合研究科博士課程/後藤景介(泌尿器系癌の分子病理学的研究に関する研究業績が国内外において高い評価を受けた)

◎大学院工学研究科博士課程後期/齋藤靖洋(日本オペレーションズ・リサーチ学会2015年春季研究発表会において、学生優秀発表賞を受賞した)

◎大学院生物圏科学研究科博士課程後期/笘野哲史(国際頭足類シンポジウムにおいて、最優秀ポスター賞を受賞した)

●課外活動
体育系:「全国規模の競技会での入賞及びそれに準じる成績」以上の成績を収めた者
文化系:「全国規模のコンクール等での高い評価及びそれに準じる評価」以上の評価を得た者

◎体育会自動車部/小川直也・加藤祐介・奥野俊(平成27年度全日本学生ジムカーナ選手権大会団体の部男子・6位)、内田芹香(同大会個人の部女子・3位)、加藤祐介・奥野俊・藤田遼一・塩飽朋也(平成27年度全日本学生自動車運転競技選手権大会男子団体の部・5位)、三浦由衣・藤原茉那(同大会女子団体の部・3位)、加藤祐介(同大会男子小型乗用の部A・7位)、奥野俊(同大会男子小型乗用の部B・5位)、藤田遼一(同大会男子小型貨物の部A・5位)、塩飽朋也(同大会男子小型貨物の部B・5位)、三浦由衣(同

大会女子小型乗用の部・4位)、藤原茉那(同大会女子小型貨物の部・3位)

◎**体育会柔道部**/坂井友美(第45回全日本実業柔道個人選手権大会女子63kg級・第5位)、磯﨑佳歩(平成27年度全日本学生柔道体重別選手権大会女子78kg超級・第5位)

◎**体育会女子ヨット部**/寺田七海(第68回全日本スナイプ級ヨット選手権大会国際スナイプ級・3位)

◎**体育会水泳部**/原美波(第91回日本学生選手権水泳競技大会女子200m個人メドレー・8位)

◎**体育会漕艇部**/野口皓平(第42回全日本大学選手権大会男子シングルスカル・5位)

◎**体育会バレーボール部**/甲斐百絵・浴田沙織・志方葵・山本紗良・豊田寛乃・近藤美咲・佐藤由惟・松下由樹・渡邊なるみ・中嶋梨沙・高良美祐・守山明沙季・松尾郁美・磯村美菜子・髙部芙美香・坂梨千尋・津口玲奈・河村志保(第62回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会・ベスト8)

◎**体育会フットサル部F.DO**/紀貴樹・重村三千男・三好俊平・伊藤慎一郎・岡亮太・林康平・木田志樹・島崎航平・石田仁哉・草加健瑠・大田修平・藤本紘平・永井聡・古川貴史・齊藤弘一郎・財間寛太・宮本紘和・三宅雅大・甲斐悠太・阿武大玄(第11回全日本大学フットサル大会・準優勝)

◎**DAMAけん**/里田優太(第31回日本けん玉協会杯争奪戦・準優勝)、里田優太(WOOD ONE Kendama World Cup Hatsukaichi 2015・世界8位)、寺田周平(第13回全日本クラス別けん玉道選手権大会SAクラス・4位)、米田拓磨(第40回全日本けん玉道もしかめ選手権大会・6位)

◎**アカペラサークルPlaza de Espaàa**/湯川真司・佐々木瞭輔・瀬尾拓也・清田康之・大方葉月・齋藤真歩(2015香港国際無伴奏合唱比賽(2015 Hong Kong International a cappella Contest)・優勝)、湯川真司・佐々木瞭輔・瀬尾拓也・清田康之・大方葉月・齋藤真歩(金沢アカペラ・コンクール2015・金賞)

◎**教育学部**/占部久美子(第5回日本バッハコンクール全国大会大学生部門・第1位グランプリ)、田村未緒(第17回さくらぴあ新人コンクール・審査員特別賞(第4位))、山崎雅浩・髙田愛子(第9回ベーテン音楽コンクール全国大会自由曲コース連弾Dの部・第6位)

◎**工学部**/吉富絵理華(「就職四季報2017年版」第5回表紙イラスト案コンテスト・優秀賞)

◎**文学部**/門脇卓人(第42回日本ギターコンクール大学生部門・金賞)、門脇卓人(同コンクール上級部門・金賞及び日本ギター協会賞)

◎**文学研究科**/松野友美(Hallo Deutschland 2015ードイツ語を学んでいる大学生のためのコンテストー・第1位)

●**社会活動**

ボランティア活動、人命救助、犯罪防止、災害防止等の社会活動で特に顕著な功績があった者

◎**OPERATIONつながり**/青山聡・笠井礼志・冨吉亘哉・岩永奈々恵・田坂貴浩(関東地方・東北地方で発生した豪雨災害において、他大学の学生らと共に、平成26年の広島土砂災害に関わってきた経験を生かして、ニーズ調査及び傾聴活動を行い、円滑なボランティアセンター運営に貢献した)

◎**生物圏科学研究科**/山本晃弘(広島大学学生環境委員会の初代委員長として、さまざまな環境活動を活発に行った。また、東広島市環境審議会委員、東広島市地球温暖化対策地域協議会「エコネットひがしひろしま」の役員として地域の環境保全に貢献した)

◎**Mode for Smiles**/伊達文香・赤坂由梨子・藤戸笑実・壇知里・青木陽平・白木隼人・衆樹玲・山下いずみ・湯池華子・谷川万由子・吉澤実夏子・野仲真理子・川瀬瑠美・永井千晶・富山優衣・後藤未冴・白川千波(インドの女性支援NGOと提携して、人身売買の被害にあった女性たちと一緒にファッションショーを行った。当日は約150名が来場し、ファッションショーを通して、人身売買や売春被害など厳しい状況下で生きるインドの女性たちの自立支援に貢献すると共に、途上国の抱える女性問題の発信を行い、人々が関心を持つ機会をつくった)

副学長表彰

●**課外活動(体育活動)**

ブロック規模(西日本大会、中国・四国地区大会、中国地区大会)の競技会での優勝者

◎**体育会剣道部**/嶋村祥・井上隆太・竹内直生・原田将伍・矢山将司・惣木堅太・相塲秀斗(第48回全国教育系大学学生剣道大会男子・優勝)、渡邊サチ・佐藤あすみ・早矢仕真帆(第35回中四国学生剣道新人大会女子団体戦の部・優勝)

◎**体育会硬式ソフトボール部**/庄林希・小野弘汰・新谷恭平・橋本卓磨・湯浅正樹・辻天薫・森島慎也・佐藤優介・琴岡隼志・片岡真一・門田惇希・二宮匠・赤木秀至・後田優太郎・尾中泰晴・平松直樹・青垣圭亮(第50回全日本大学ソフトボール選手権大会中国地区予選会男子・第一代表決定)

◎**体育会硬式庭球部**/永原栄吾(平成26年度中国四国学生室内テニス選手権大会男子シングルス・優勝)、松川祥子・小寺郁美(同大会女子ダブルス・優勝)、小寺郁美(平成26年度冬季中国四国学生テニス選手権大会女子シングルス・優勝)、松川祥子・小寺郁美(平成27年度春季中国四国学生テニス選手権大会女子ダブルス・優勝)、松川祥子・小寺郁美・木村祐佳・岩城輝弥(平成27年度全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会女子一部・優勝)、小寺郁美(平成27年度夏季中国四国学生テニス選手権大会女子シングルス・優勝)

◎**体育会自動車部**/小川直也・加藤祐介・奥野俊(全中四国学生ジムカーナ選手権大会男子団体・優勝)、奥野俊(同大会男子個人・優勝)、小川直也・藤田遼一・奥野俊(全中四国学生ダートトライアル選手権大会男子団体・優勝)

◎**体育会準硬式野球部**/渡邊亮太・平原謙・小松原魁人・田中魁秀・塩見和己・坂本和俊・出口航平・大田晴久・山内颯馬・坪井誌奎・名越久泰・佐竹章由・中山裕貴・佐藤都喜・三木大輔・前川圭佑・谷本葵・松岡弘樹・熊谷武流・甲斐雄哉・藤岡晃平・青木健太・坂本直也・津村駿斗・東園公輔・冨永健人・竹内恒洋・長谷川礼次・今門宏輔・清水晶浩・藤井瑛仁・児玉昇大・起塚拓志・小野友寛・中島健太・林省吾・村上昇平・和田岳・魚見知志・山田耕平・蓮野怜央(平成27年度中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦第一部・優勝)

◎**体育会水泳部**/原美波(第46回中国四国学生選手権水泳競技大会女子400m自由形・1位)、原美波(同大会女子400m個人メドレー・1位)、家頭慈(同大会女子200m個人メドレー・1位)、原美波(第62回全国国公立大学選手権水泳競技大会女子200m個人メドレー・2位)、原美波(同大会女子400m個人メドレー 1位)、赤松一成(同大会男子50m自由形・6位)、村越友紀・髙山千絵・小畑朱里・原美波・山﨑千夏子・家頭慈(同大会学校対抗得点女子・6位)

◎**体育会相撲部**/牛尾瑞貴(第40回西日本学生相撲個人体重別選手権大会65キロ未満級・優勝)

◎**体育会漕艇部**/野口皓平(平成27年度関西学生秋季選手権男子シングルスカル・優勝)

◎**体育会体操部**/松原聖・西側貴司・阪本啓・筑後真智・江﨑圭・濱松拓也(第48回中国・四国学生体操競技大会男子団体総合・第1位)

◎**体育会卓球部**/西廣香奈(第66回中国学生卓球選手権春季大会女子シングルス・優勝)、佐竹里香・水野結衣・台信涼子・西廣香奈・大串奈央・河原永実・溝口奈都(第66回中国学生卓球選手権秋季大会女子団体1部・優勝)、西廣香奈(同大会女子シングルス・優勝)、仙頭克実・岸隆宏・北脇賢志・吉岡大視(第37回中国学生卓球連盟会長杯争奪大会男子団体・優勝)、佐竹里香・台信涼子・西廣香奈・大串奈央・河原永実・溝口奈都(同大会女子団体・優勝)、西廣香奈・台信涼子(同大会女子ダブルス・優勝)

◎**体育会馬術部**/北山大貴・松永赳尭・住田大亮・大上あすみ・黒澤明莉・田原千聖・藤井啓右・宮川慧・佐々木やまと・米谷まり・二井岡友美・加藤大輔・岩室徳成・天野翠・藤本美加・髙橋梨花・石橋愛実・芹田あきほ(第29回夏季中国・四国地区学生馬術大会・団体総合優勝)

◎**体育会バスケットボール部**/深谷研介・目﨑祐介・年藤健史・伊勢本丈・滝沢大吾・橋本真・和田勇人・西村晃輔・山地智司・日永田将・角田泰地・榊原康太・下奥元・森田恭平・山崎真治・平田匠・山田圭治・岡村悠太郎・山﨑雄士・金井奎太・河野悠毅・濵岡舜・吉安海斗・村上直希(第28回全国国公立大学バスケットボール大会・第4位)、深谷研介(第70回国民体育大会バスケットボール競技中国ブロック大会成年男子・1位)

◎**体育会バレーボール部**/甲斐百絵・浴田沙織・志方葵・山本紗良・豊田寛乃・近藤美咲・佐藤由惟・松下由樹・渡邊なるみ・中嶋梨沙・高良美祐・守山明沙季・松尾郁美・磯村美菜子・髙部芙美香・坂梨千尋・津口玲奈(平成27年度第81回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会女子一部・第1位)、甲斐百絵・浴田沙織・志方葵・山本紗良・豊田寛乃・近藤美咲・佐藤由惟・松下由樹・渡邊なるみ・中嶋梨沙・高良美祐・守山明沙季・松尾郁美・磯村美菜子・髙部芙美香・坂梨千尋・津口玲奈・河村志保(第59回中国四国学生バレーボール選手権大会女子・優勝)、甲斐百絵・浴田沙織・志方葵・山本紗良・豊田寛乃・近藤美咲・佐藤由惟・松下由樹・渡邊な

るみ・中嶋梨沙・高良美祐・守山明沙季・松尾郁美・磯村美菜子・髙部芙美香・坂梨千尋・津口玲奈・河村志保（2015年度第82回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会女子一部・第1位）

◎**体育会フェンシング部**／田中歩（第51回全国国公立大学フェンシング選手権大会女子個人フルーレ・優勝）、田中歩（同大会女子個人サーブル・第3位）

◎**体育会フットサル部F.DO**／紀貴樹・重村三千男・三好俊平・伊藤慎一郎・岡亮太・林康平・木田志樹・島崎航平・石田仁哉・草加健瑠・大田修平・藤本紘平・永井聡・古川貴史・齊藤弘一郎・財間寛太・宮本紘和・三宅雅大・甲斐悠太・阿武大玄（第11回全日本大学フットサル選手権大会中国地域大会・優勝）

◎**体育会ボクシング部**／上村幸太郎（第40回中国大学ボクシング秋季大会フライ級・第1位）、安松弘毅・上村幸太郎・河本遼太郎・木下裕太郎（同大会団体総合・第1位）

◎**体育会ヨット部・女子ヨット部**／池田光生・元川凱喜・篠原佑太・姫村和典・高木秀隆・西山謙仁（2015年度中四国学生ヨット選手権大会兼2015年度全日本学生ヨット個人選手権大会中国水域予選国際スナイプ級団体・1位）、池田光生・元川凱喜・高木秀隆・西山謙仁・寺田七海・川原顕吾（第65回中国学生ヨット選手権大会兼第80回全日本学生ヨット選手権大会中国水域予選国際スナイプ級団体・1位）、寺田七海・川原顕吾（同大会国際スナイプ級個人・1位）

◎**体育会陸上競技部**／井野口慎之輔（第69回中国四国学生陸上競技対校選手権大会男子10000m・優勝）、山田千花（同大会女子10000mW・優勝）、権出憲一（第38回中国四国学生陸上競技選手権大会男子やり投・優勝）、横田知佳（同大会女子10000m・優勝）、山田千花（女子10000mW・優勝）

◎**教育学研究科**／荒川皓基（第70回国民体育大会バスケットボール競技中国ブロック大会成年男子・1位）

●**社会活動**

ボランティア活動を行い、学内外において多大な貢献をしたと認められる者

◎**教育学部**／伊藤真浩・岡本克哉・上森雄弥（広島県立西条特別支援学校より依頼を受け、肢体が不自由な子どもでも音楽を楽しめる「太鼓たたき機」を開発し、障がい者の自立に向けた活動に貢献した）

◎**ピア・サポーター**／橋本美咲・福地紗帆・原田真吾・小山美香・升田真依子（広島大学ピア・サポート・ルームにおいて、ピア・サポーターとして積極的にその活動に参加し本学の学生支援活動に多大な貢献をした）

主なスケジュール 2016年4月～8月

- 4月上旬 ・新入留学生オリエンテーション
- 4月上旬 ・G.ecbo day（海外インターンシップ）プログラム募集説明会（大学院生）
- 4.1～ ・健康診断※
- 4.1 ・G.ecbo（海外インターンシップ）プログラム募集開始（大学院生）
- 4.3 ・入学式
- 4.4～4.14 ・履修手続期間（前期開講科目）※
- 4.8 ・第1ターム授業開始
- 4.9～4.10 ・交通安全講習会
- 4月中旬 ・日本学生支援機構奨学金出願受付※（学部2年生以上）
- 4月中旬 ・授業料免除申請受付（新入生）
- 4月中旬～ ・オリエンテーションキャンプ※
- 4.15～4.22 ・日本学生支援機構奨学金出願受付※（大学院在学採用）
- 4.19 ・G.ecbo（海外インターンシップ）プログラム応募締め切り（大学院生）
- 4月下旬 ・会話パートナーオリエンテーション
- 4月下旬 ・NOIEオリエンテーション
- 4.30 ・前期授業料振り込み締め切り
- 5.9～5.13 ・留学WEEK
- 5.9～5.13 ・合同留学体験報告会
- 5.10～5.17 ・日本学生支援機構奨学金申請受付（新入生）
- 5月中旬 ・前期授業料振り込み締め切り（新入生／科目等履修生／研究生）別途、振込依頼書に記載します。
- 5.14 ・全学一斉TOEIC®IPテスト
- 5月下旬～6月上旬 ・STARTプログラム参加学生募集選考
- 6.4～5 ・フェニックスコンサート
- 6.9～6.17 ・履修手続期間（第2ターム開講科目）※
- 6.13～ ・第2ターム授業開始
- 6月下旬 ・海外渡航リスク管理セミナー
- 7.10 ・ゆかたまつり
- 7月下旬～ ・G.ecbo（海外インターンシップ）プログラム派遣開始
- 8月上旬～9月上旬（東広島キャンパス）9月下旬～10月上旬（霞・東千田キャンパス） ・後期分授業料免除申請受付※ 申請受付期間の詳細は「授業料免除申請のしおり」等で確認してください。
- 8月上旬 ・INU学生セミナー
- 8.6 ・原爆死没者追悼式
- 8.10 ・前期授業終了
- 8.11～9.30 ・夏季休業
- 8.18～8.19 ・オープンキャンパス※
- 8月下旬 ・HUSA（短期交換留学）派遣学生追加募集（オセアニア）締め切り

注意…※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。

編集部からのお知らせ

『HU-style』は、2016年4月号（Vol.45）を最後に休刊することとなりました。2005年4月の創刊以来、広大生をはじめ、卒業生、保護者、高校生など多くの方々にご愛読いただき誠にありがとうございました。今後は、『HU-style』に代わる『新冊子』を発行予定です。

※現在『HU-style』を定期購読されている方には、引き続き『新冊子』を送付いたします。新規に定期購読（無料）を希望される方は、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業を明記し、Eメール、Faxまたはハガキでお申し込みください。お問い合わせ・お申し込み先は、ページ右下に記載。

※購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

COVERな人 第45号

一流の道を歩む人たち

コメント

今回のモデルは、教育学部4年の占部久美子さんと医学部3年の里田優太さんです。3月初旬、天候に恵まれた空の下、総合科学部前で撮影を行いました。占部さんは、音楽文化系コースでピアノを専攻。「第5回日本バッハコンクール全国大会 大学生部門」で第1位グランプリに輝きました。最近よく弾くのはメンデルスゾーンの作品で、曲の持つ世界観を奏でられた時が楽しいとのこと。里田さんは、世界で活躍できる医師を目指し、医学科で勉強中。また、けん玉では国内屈指の実力の持ち主で「けん玉ワールドカップ廿日市2015」では世界8位に入賞。春休みはモンゴルへ行き、けん玉の普及活動を行うそうです。なお、占部さん、里田さん共に平成27年度学生表彰を受けました。その他の受賞者と合わせ、幅広く活躍する広大生をチェックしてみてくださいね。

編集後記

広大生が作る、広大生のための広報誌『HU-style』。企画に悩み、取材をがんばった歴代学生スタッフみんなのおかげで、11年にわたり45号もの冊数を積み重ねることができました。11年前は高校生だった私は、その後、広大へ入学し『HU-style』の読者・学生スタッフとなり、卒業後も職員として再び『HU-style』に携わる機会に恵まれました。常に『HU-style』と一緒に歩んできた身としては、最終号を迎えた今、寂しい気持ちでいっぱいです。ウェブでは引き続きバックナンバーをご覧いただけますので、色あせない過去の誌面をお楽しみください。最後に、これまで取材にご協力いただいた広大生・卒業生・教職員、そして読者の皆さま本当にありがとうございました。（編集部員i）

HU-style

HU-style 2016年4月号 Vol.45（季刊）
編集・発行：広島大学広報グループ
住所：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
電話：082-424-4518 Fax:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp